

概要

地域住民の参画・協業により果樹園経営を行う

目指すもの

- ・ 農業引退後などに市街地で生活しつつ毎日を楽しめる生きがいづくり
- ・ 農業者間や、他産業との連携、さらには地域住民との連携を強めていくためのきっかけ作り
- ・ 観光資源の一つになる？

コンセプト（案）

- ・ 楽しくやる！
- ・ 地域の資源（ひと、かね、機材、環境等）を結集する！
（解説）農業者間や他産業との連携には、自分たちの資源の見直しから始める必要がある
総合力を結集することで何ができるのかを皆で実感、共有する

名称

- ・ 「といかん共同果樹園」で良いのでは？
- ・ 新たに決めるのであれば、子どもたちに募集する
- ・ 収穫が見えてきてから決めるべきでは？

プロジェクト2 「といかん共同果樹園」 企画書

2023.5.31時点

場所



前田さんの畑の一角を共同果樹園に



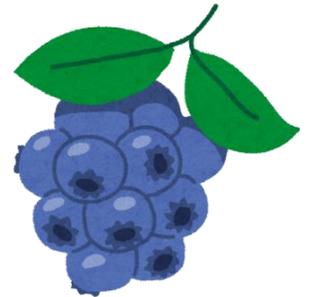
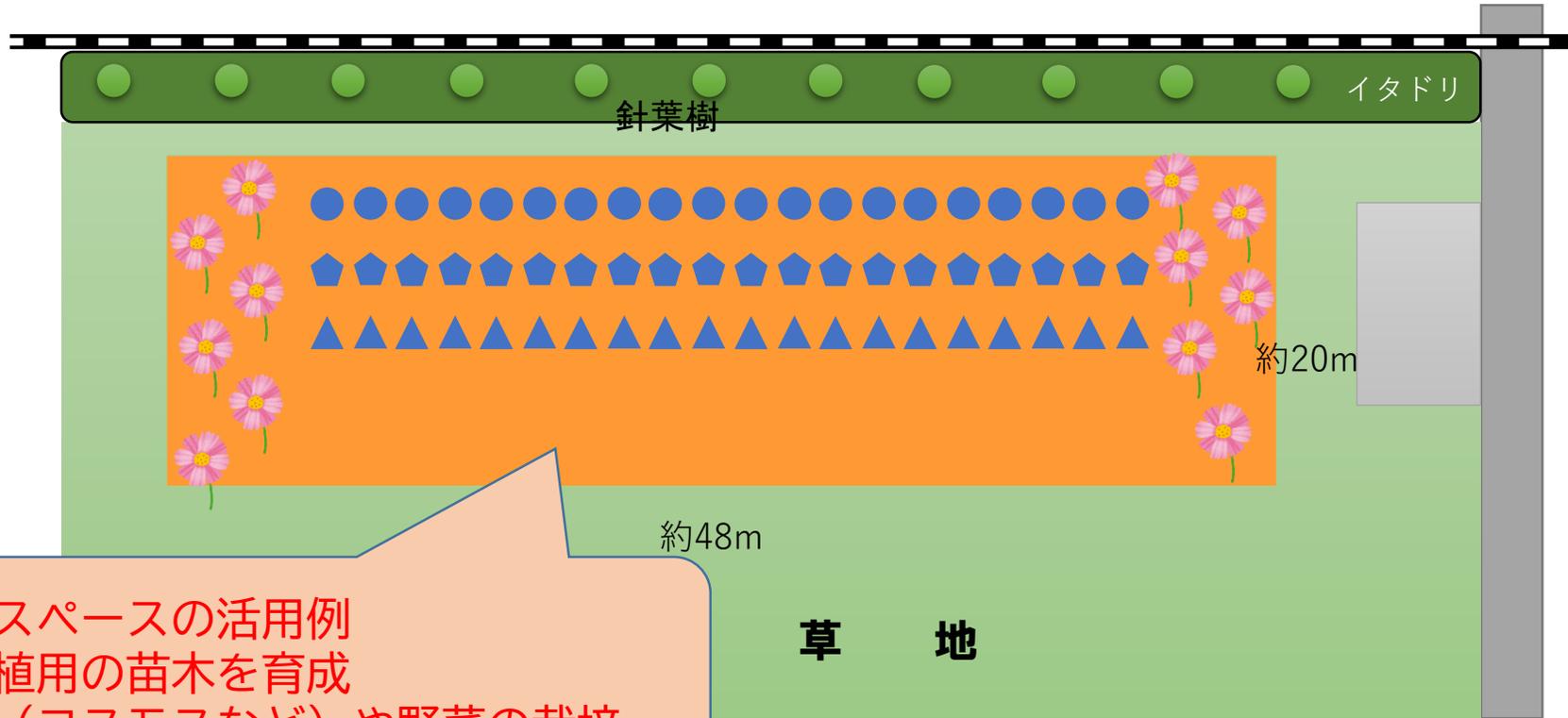
畑おこし範囲 10m×48m (画像)



さらに拡大 **20m×48m**

プロジェクト2 「といかん果樹園」 企画書

配置イメージ (案)



空きスペースの活用例

- ・ 補植用の苗木を育成
- ・ 花（コスモスなど）や野菜の栽培



プロジェクト2 「といかん果樹園」企画書

課題

- 害獣対策
 - ・ 鳥はブルーベリーにとって最大の敵→見栄えは悪いが防鳥ネットは必須
 - ・ その他の動物（クマ・アライグマ・ネズミ・キツネ・シカ？ など）
→必要な対策を（電気牧柵の導入は再考）
 - ・ 周辺住民へのご説明
- 作業について
 - ・ 植樹をはじめ、冬囲いや収穫などの作業には人手が必要
→お知らせする方法の検討
- 収穫物について
 - ・ 販売も含めて検討
→日持ちのしない食材、冷凍や加工も視野

スケジュール

- 畑おこし（2回目）
 - ・ 5月19日に実施
 - ・ 面積を480㎡から960㎡へ拡大
- 植樹会
 - ・ 現在スケジュール調整中
→多くの地域の方、特にこどもが参加できるような日程で
 - ・ 交付金の関係から、同時に花も植えてほしい
 - ・ 日程が固まり次第、地域の方々にお知らせしますのでご協力お願いします。
- 樹木管理（花芽取り、剪定など）